

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成30年2月8日(2018.2.8)

【公開番号】特開2017-63551(P2017-63551A)

【公開日】平成29年3月30日(2017.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-013

【出願番号】特願2015-187742(P2015-187742)

【国際特許分類】

H 02J 7/14 (2006.01)

【F I】

H 02J 7/14 H

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

図9及び図10は第1の手法を示すグラフである。図11及び図12は第2の手法を示すグラフである。これらの図のいずれにおいても、横軸には時間を採り、縦軸にはリレー101, 103に流れる電流*i*1と、リレー102に流れる電流*i*2を探る(電流*i*1, *i*2はその流れる方向を不問とする絶対値である)。またリレー101, 102がオープン状態にあることを「OPEN」で、クローズ状態にあることを「CLOSED」で、それぞれ示す。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

第2の手法を纏めると以下のようになる:

(i-2)リレー101に所定値(上述の例では150A)以上の電流が流れる時間が第1時間(上述の例では10ms)に達してから、リレー101がクローズ状態からオープン状態へ遷移し、

(ii-2)リレー102に上述の所定値より大きな電流(上述の例では200A以上)が流れる時間が第2時間(上述の例では10ms)に達してから、リレー102がクローズ状態からオープン状態へ遷移する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0066

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0066】

ステップS101, S102, S103, S104の纏まりは、上述の動作(i), (i-1), (i-2)に対応する。ステップS201, S202, S203, S204の纏まりは、上述の動作(ii), (ii-1), (ii-2)に対応する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0078】

ステップS105では、リレー103をオープン状態にする（図1の車載ECU403からリレー103への破線矢印でこれを模式的に示した）。これは上述の様に、上記(i)の動作において、リレー103はオープン状態であるべきであるからである。

【手続補正5】

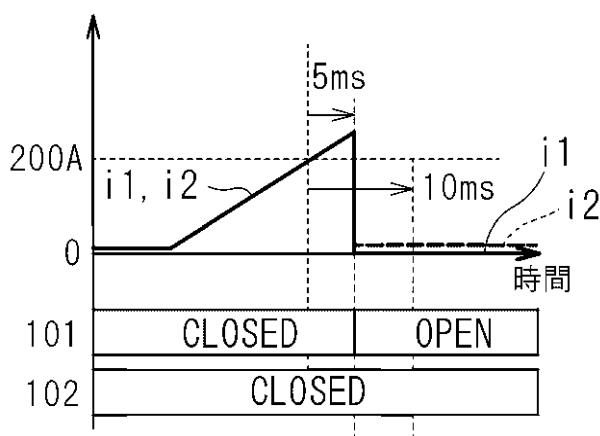
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図9】



【手続補正6】

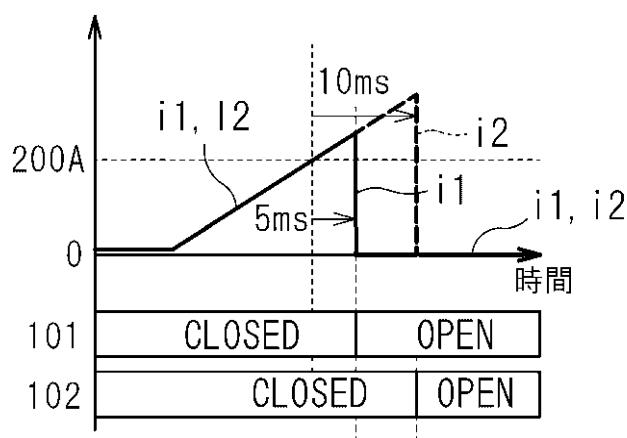
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図10】



【手続補正7】

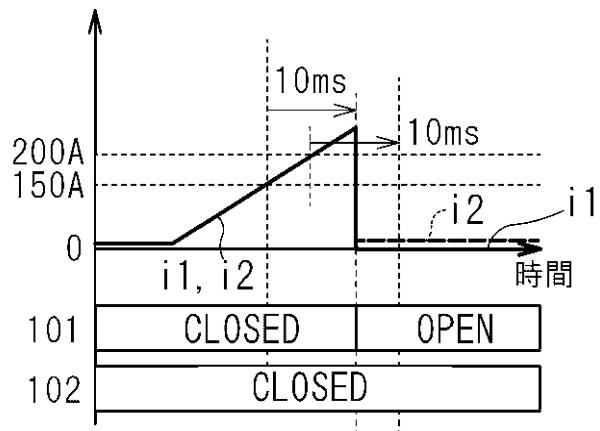
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 1】



【手続補正 8】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 2】

